



11/15

自分らしさを大切に

荒砥小学校で人権教室を開催

人権擁護委員の方6名が、荒砥小学校4年生の児童を対象に人権教室を開催しました。

「誰もがみんな幸せになるために生まれてきたこと。自分自身、そしてお友達の人権も守ることが大切です」との説明を受け、「白い魚とサメの子」の紙芝居が委員の方々より、あたたかい声で読み上げられました。

児童たちは、この教室を通して命の大切さ、尊さ、自分らしさを学び、仲間を思いやる気持ちや自分を大切にすることを学びました。



▲子どもたちにやさしく語る人権擁護委員

11/17

日本のおもてなし、山形の味覚

国際交流芋煮会 2024 を開催

この日、荒砥地区コミュニティセンターにて「国際交流芋煮会 2024」が開催されました。

当日は、町内外にお住まいの外国人や国際交流協会の会員総勢60名が参加し、山形の秋の風物詩である芋煮を楽しみました。会の中で、アメリカ出身の参加者が戦没作曲家・紺野陽吉氏のバイオリンを使用した演奏を披露し、参加者は演奏に耳を傾けながら芋煮を味わっていました。

また、参加者の出身国の歌や踊りを披露するなど、楽しいひとときを過ごしていました。



▲終始賑やかな雰囲気に包まれていました

11/19

収穫の喜びを思う存分に

鮎貝小学校でりんごの収穫体験

この日、鮎貝小学校3年生の児童たちは、箕和田地内にあるりんご農園でりんごの収穫を行いました。

これまで、6月に摘果作業、9月に葉摘み作業を行い、「おいしいりんごができますように」と愛情をたっぷり注いで育ててきました。収穫の日を待ち望んでいた子どもたちは、オリジナルのシールを貼ったりんごを見つけると満面の笑みを浮かべ、収穫の喜びを堪能。最後は採りたてのりんごを頬張りながら、「甘くておいしいりんごができてよかった」と話し、早く家族にも食べてもらいたいと心を躍らせていました。

▶カゴいっぱいりんごは想像以上に重かった！！
▼大収穫にみんなニコリ





10/18

紅花最大の魅力を発見

東根小学校で紅花染め体験

東根小学校4年生の児童たちは、紅花の総合学習で最後の取組となる紅花染めを行いました。

今年の7月に暑さと棘の痛みに耐えながら摘んだ紅花が紅餅となり児童たちの元へ。無地のハンカチと手ぬぐいを1枚1枚丁寧に染め上げました。紅餅から抽出した朱色の色素に生地を浸し、クエン酸水を加えると鮮やかなピンク色に変化。児童たちはこの変化に驚くとともに、嬉しそうな表情を浮かべました。

真夏の紅花摘みで感じた「なぜこんなにも大変な思いをして紅花を育てているのだろうか?」という疑問に対する答えが見つかったようです。



▲出来栄をお互いに確認する児童たち

10/19

町のさらなる発展をー

旧中山小学校のタイムカプセルを開封

この日、旧中山小学校敷地内に埋められたタイムカプセルを掘り起こし、開封作業が行われました。

旧中山小学校は、平成18年度に閉校し、現在は特別養護老人ホームとして活用されています。

開封作業当日は、当時の児童と保護者、教職員など30名が参加。タイムカプセルを開封すると、中からは文集や写真、名前が刻まれた深山焼の皿などが出てきました。

タイムカプセルを開封すると同時に、当時の思い出も呼び起され、参加者たちは終始和やかな雰囲気包まれていました。



▲開封後に記念撮影

10/31

地元の伝統芸能を次世代へー

蚕桑小学校で高玉芝居の学習会

蚕桑地区で200年以上も前から地元を受け継がれている「高玉芝居」。これを次世代に繋げようと、毎年蚕桑小学校4年生の児童たちが高玉芝居に関する学習会を行っています。

この日、高栄会で座長を務める児玉敏さん(高玉)が来校し、児童たちに高玉芝居の歴史などを説明した後、実際に舞台上で使用されているカツラや刀に触れました。小道具は、想像していたよりも重量感があったようで、「意外に重い!」といった言葉が飛び交いながらも、児童たちは役者になりきり嬉しそうな表情を浮かべていました。

- ▶実際の舞台上で使われている道具に触れる児童
- ▼高栄会代表の児玉敏さん

